

健康メモ

大腸の検査を受けていますか？

広島市医師会理事
医療法人たかまさと理事長代行

山崎 正志

「そろそろ大

腸のこと気にし
なくっちゃ」な

ど、最近テレビ

などでの大腸の

話題が増えています。大腸の病気は

いろいろありますが、やはり一番懸

いのは大腸癌です。

近年わが国において、大腸癌患者

は増加しており、大腸癌の死亡数は

2004年度で男性 万一千三百五

女性 一万八千二百七人であり、二〇年

前の約二倍となっています。

性別における癌死亡率の推移をみ



てみますと、男性では一位が胃、二
位が肺、三位が肝臓、四位大腸の順
でしたが、現在では第一位が胃癌か
ら肺癌となり、大腸癌は四位が続い
ています。一方女性では、胃癌の一
位が長く続いていましたが、03年

より大腸癌が一位となり、順に胃、
肺となっています。また、年齢別に
大腸癌死亡率をみますと、男女とも
四〇歳代から増加し、五〇歳代から
急増しています。

大腸癌の発生原因としては、遺伝
的原因に加え、食習慣を含む生活習
慣が深く関わっています。わが国に
おいても、肉類や脂肪分の摂取の増
加や肥満(内臓肥満)、運動不足など
が原因として考えられています。が、
近年急速に増加してきている糖尿病
やいわゆるメタボリック症候群も原
因となっている可能性が大と思われ
ます。

大腸癌の検査方法と致しましては、

まず、便潜血反応(免疫法)による
大腸癌検診があげられます。便潜血
反応が陽性の場合、次に確定診断の
ため、大腸内視鏡検査が必要となり
ます。検診による大腸癌の発見率は、
年々増加してきています。特に、痔
のある方は放置されている可能性も
あります。また、普段便秘気味の方、
便が細かったり、ウナギのようなコ
ロコロした便の方などは精密検査が
必要です。

大腸癌の予防と致しましては、食
生活において、野菜や果物を摂取し、
メタボリック症候群の予防と同じよ
うに全体としてのエネルギー摂取を
適正化するとともに
に、運動が効果的で
す。

従って、早期発見
早期治療のために
はぜひ、大腸検診を
お勧めします。

